

演劇で認知症を学ぼう！

劇団やまなみ第214回公演 「すてきな5人の淑女たち」

平成29年10月7日(土)

受付：13:30 開場：14:00

◎場 所：須玉ふれあい館ホール

(北杜市須玉町若神子521-17)

◎入場料：一般500円/高校生以下無料

(要申込・先着400名)

※ 電話にて申込み下さい。

※ 申込みいただいた方に、入場券を郵送します。料金は、当日徴収します。

認知症の人を支えるまちづくり

高齢化が進化する北杜市では、今後、ますます認知症の人の増加が見込まれています。しかしながら、認知症の人のことを「何もわからなくなった人」と間違っ理解されていることも多く、ご本人やご家族が必要以上に辛い思いをする原因にもなっています。認知症は特別なことではなく、私たちのごくごく身近な家族や周囲の方でもなりうる可能性があるものです。

今回、認知症を身近な問題として考えるきっかけとするため、初めて演劇による啓発イベントを企画しました。

この作品は、認知症の人やその周りで関わる人たちそれぞれの悲喜こもごもが描かれ、「認知症」とは何か、「介護」とは何かを改めて考えさせられる素晴らしい内容です。市民の皆さまには、公演にご来場いただき、心のこもった演劇をお楽しみいただくとともに、認知症を正しく理解し、認知症の人とそのご家族の良き理解者になっていただきたいと思ひます。

また、介護を必要とする人が増える中で、認知症の人を支えるまちづくりは介護者か心身ともに健康であることが重要です。一人で頑張りますず、サポートを上手に活用しながら、ゆとりを持って介護に対処できる環境を整えていただきたいと思ひます。

これからも認知症の人とそのご家族の皆さまが安心して暮らすことができる地域づくりのために、お一人お一人が地域でできることを考えていただきますとともに、「愛でつながる北杜市」を目指して、支え合いの輪が広がることを期待してまいります。

北杜市長 渡辺 英子

★あらすじ★

舞台は、認知症グループホーム「福ちゃん家」。トッチカンな共同生活を送る個性豊かな5人の淑女。殿と呼ばれているアサさん。いつでも恋をしている和子さん。おネエっぽい絵描きの多吉さん。料理長を自稱する妙さん。ふと20代に回帰してしまふ愛子さん。そんなある日、福ちゃん家に児童相談所から一人の少女(まいこ)がやってくる。

5人の淑女とまいこの共同生活は、泣いたり、笑ったり、怒ったりの連続...! 家族の団らんを知らないまいこは、5人の淑女たちと共同生活を送ることで、愛情を感じ、自分らしく生きる淑女たちの姿に影響を受ける。

すてきな5人の淑女たち

宮崎和加子著「生き返る痴呆老人」より



◆申込みは… 北杜市 市民部 介護支援課
包括支援担当 TEL 0551-42-1336